

経済財政運営と改革の基本方針 2022 骨子案

第1章 我が国を取り巻く環境変化と日本経済

1. 本基本方針の考え方
2. 短期と中長期の経済財政運営
 - (1) 当面の経済財政運営
(当面のマクロ経済運営、経済社会活動の正常化に向けた感染症対策)
 - (2) 中長期の経済財政運営

第2章 新しい資本主義に向けた改革

1. 新しい資本主義に向けた対応
 - ＜計画的な重点投資＞
 - (1) 人への投資
 - (2) 科学技術・イノベーションへの投資
 - (3) スタートアップへの投資
 - (4) グリーントランスフォーメーション（GX）への投資
 - (5) デジタルトランスフォーメーション（DX）への投資
 - ＜社会課題の解決に向けた取組＞
 - (1) 民間による社会的価値の創造
 - (2) 包摂社会の実現
(少子化対策・こども政策、女性活躍、孤独・孤立対策、就職氷河期世代支援など)
 - (3) 多極化・地域活性化の推進
(デジタル田園都市、分散型国づくり、関係人口、中堅・中小企業の活力、農林水産業・食料安全保障、観光立国、文化芸術・スポーツ振興など)
2. 国際環境の変化への対応
 - (1) 対外経済連携の促進
 - (2) 経済安全保障の強化
 - (3) 外交・安全保障の強化
3. 防災・減災、国土強靱化の推進
4. 国民生活の安全・安心

第3章 中長期の経済財政運営

1. 中長期の視点に立った持続可能な経済財政運営
2. 持続可能な社会保障制度の構築
3. 生産性を高める社会資本整備
4. 国と地方の新たな役割分担
5. 経済社会の活力を支える教育・研究活動の推進

第4章 当面の経済財政運営と令和5年度予算編成に向けた考え方

1. 当面の経済財政運営について
2. 令和5年度予算編成に向けた考え方